

お知らせ コーナー

平成23年度保育所 入所のご案内

平成23年4月保育所入所希望者の申し込み受け付けを次の要領で行いますので、期間内に入所申込書を提出してください。

受付期間

2月14日（月）～
3月4日（金）

受付時に持参する物

- ・入所申込書と印鑑
- ・就労証明書（父親・母親とも必要）
- ・平成22年分源泉徴収票（父親・母親、そのほか世帯内で給与所得がある方全員）

・口座振替依頼書（振替希望の方）

※昨年1月1日の住所が町外の方は、前住所地の平成22年度市町村民税の所得課税証明書（父親・母親とも必要）

入所の決定と通知

後日保護者あてに通知します。

保育料の通知

保育料は、児童の世帯の前年中の所得状況と、前年度分の税額などにより計算されますので、通知は所得の確定後（4月中旬ごろ）となります。

【継続児】

年度初めの入所申込書の提出は必要ありませんが、継続入所確認書、就労証明書の提出と、源泉徴収票または所得課税証明書など保育料算定資料の提出をお願いします。保育所または教育委員会から後日通知します。

【慣らし保育】

新入児については、個々の状況により「慣らし保育」を実施しています。入所希望保育所にご相談ください。

問い合わせ・受付・書類配付先

大崎保育所

（大崎200）

☎ 35・0152

ふたば保育所

（森4279-1）

☎ 32・1021

長者保育所

（長者乙2502-2）

☎ 32・1756

池川保育園

（土居甲1190）

☎ 34・2427

仁淀川町教育委員会

☎ 35・0019

仁淀教育事務所

☎ 32・1041

池川教育事務所

☎ 34・2480

※受付書類（入所申込書・就労証明書）は右記にあります。また、町ホームページの様式集からダウンロードできます。



ご存じですか？ 被災建築物応急 危険度判定

被災建築物応急危険度判定とは、地震で被災した建物について、余震で倒壊するなどの危険性があるかどうかを判定して表示を行うものです。国や地方公共団体、建築関係団体などが連携し、被災地域に判定士を派遣して行います。

大きな地震が起きると建物は少なからずダメージを受け、倒壊は免れていても地震に対する強さが弱まっている可能性があります。大きな地震の後には数回の余震が予想されますが、弱くなった建物は、余震による倒壊や部材の落下などで人的被害を起こしかねません。

このため、被災者がそのままだにいていいのか、避難所に避難した方がいいのかなどを判断するために、救命・救急・消防活動と並行してできるだけ速やかに応急危険度判定を行う必要があります。

判定のための調査の際は、協力をお願いいたします。

判定結果は3種類のステッカーを建物の出入り口などに貼り付けて表示します。ステッカーはそれぞれA3サイズです。



この建物は使用可



この建物に立ち入る場合は十分に注意してください



この建物への立ち入りは危険です

最低賃金のお知らせ 必ずチェック最低賃金！使用者も労働者も！

高知県内の最低賃金（時間額）は次のとおりです。（「ハ」内は効力発生日）

詳細は高知労働局賃金室または最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

○高知県最低賃金（平成22年10月27日）

642円

○高知県電子部品・デバイス・電子回路・電子応用装置、映像・音響機械器具製造

最低賃金（平成22年12月30日）

738円

○高知県一般貨物自動車運送業最低賃金

（平成19年6月2日）

（車両総重量8トン以上または最大積載量5トン以上の貨物自動車の運転業務従事者）

910円

○高知県道路貨物運送業最低賃金

（平成19年6月2日）

（車両総重量8トン以上または最大積載量5トン以上の貨物自動車の運転業務従事者）

720円

問い合わせ

高知労働局賃金室

☎088・885・6024

皆さんの目が子どもたちを守ります —児童虐待防止と早期発見を—

教育委員会と教育研究所では、地域における児童虐待の防止および早期発見と対応のために、関係機関等と情報を共有し、適切な連携を図って対応できるように努めています。

近年、一刻の猶予もならない重大な事案が起っています。地域の皆さんも「様子がおかしい」と感じられたら、次の機関へすぐにご一報ください。



児童虐待（相談）についての連絡先

月～金 8：30～17：15	電話番号
仁淀川町教育委員会	35-0019
仁淀川町教育研究所	35-0018
池川教育事務所	34-2480
仁淀教育事務所	32-1041
子育て支援センター	35-0433
仁淀川町役場保健福祉課	35-0888
池川総合支所健康福祉課	34-2112
仁淀総合支所健康福祉課	32-1132

月～金（夜間）17：15～8：30	土日（休日）
児童家庭支援センターびやくれん（佐川町甲）	20-0203

「守ろう仁淀川！エコカーニバルin土佐市」のご案内

服のリサイクル活動と仁淀川の清流保全を組み合わせた環境保全イベントが「エコネコ」の主催で開催されます。

エコネコは、地球温暖化防止や清流保全のため、事業者や各種団体などがネットワークを構築し、県民一人一人に環境保全への関心を高めてもらうための活動を企画・提案・実施していくために昨年10月に結成しました。

活動の第一弾として、回収した着なくなった服のリサイクル販売や、加盟団体が実施している環境保全活動のPRなどのイベントを開催します。売上金は、高知県が昨年3月に策定した「第二次仁淀川清流保全計画」の実践に活用していきます。

このイベントは、リサイクル活動で創出した資金を仁淀川清流保全活動に活用することで、自分たちにも参加できるエコ活動があることに気付いてもらう住民参加型のイベントですので、多くの皆様のご来場をお待ちしています。

服のリサイクル×仁淀川清流保全

日時：2月20日（日）10時～15時

※雨天の場合は2月27日（日）

場所：土佐市「ホームセンターリッチ 土佐店」西隣駐車場

内容：服のリサイクル販売、エココンサート、地場産品販売、参加団体エコ教室・エコ活動PRなど

主催：エコネコ（事務局：暮らしの情報社 名取弘史）

☎088-873-5066

携帯090-4197-9120



平成22年中の火災・救急・救助出動状況〈高吾北消防本部〉

高吾北消防本部では、平成22年中の火災・救急・救助出動状況をまとめました。

〈火災状況〉 件数・損害額とも増加

火災件数は前年より3件増加し、損害額も増加しました。

火災の原因は、たばこ、焚き火関係、コンロの火の放置、高温物がまきに触れる、研磨機の火花、かまどの飛び火、ごみ焼きの不始末がそれぞれ1件、原因不明で原因が特定できなかったものが6件ありました。

表1 火災発生件数と損害額

町名	平成21年中		平成22年中	
	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
佐川町	5	27,068	8	26,892
越知町	1	9	2	1,495
仁淀川町	4	870	3	30
計	10	27,947	13	28,417

〈救急出動状況〉 96件増、件数過去2番目

救急出動件数は前年より96件多く、過去2番目に多い件数です。

搬送人員も前年より大幅に増加しています。高齢者が全搬送人員の7割を占めています。

脳疾患、心疾患の受け入れ可能な病院がないため、高知市内などの高次医療機関への管外搬送が、全搬送人員の約6割を占めています。

表2 救急出動件数と搬送人員状況

町名	平成21年中		平成22年中	
	件数	人員	件数	人員
佐川町	632	604	654	619
越知町	330	321	412	390
仁淀川町	413	391	408	389
管外	4	3	1	1
計	1,379	1,319	1,475	1,399

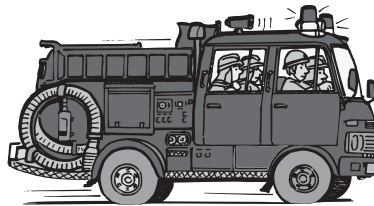
〈救助出動状況〉 大半は交通事故

救助出動件数は、前年より13件増加しています。

交通事故の出動が24件と大半を占めています。

表3 救助出動件数

町名	平成21年中	平成22年中
佐川町	5	12
越知町	7	13
仁淀川町	9	10
管外	1	0
計	22	35



高吾北消防本部へ広報車寄贈



寄贈された救急普及啓発広報車

問い合わせ・病院紹介
高吾北消防署 26・2111
仁淀川分署 35・0017

今回高吾北消防本部が寄贈を受けた救急普及啓発広報車は、救急振興財団が財団法人日本宝くじ協会の助成を受けて、応急手当普及啓発活動の支援事業として全国八百三消防本部のうちから毎年二、四本部に寄贈されているものです。このたび高知県から高吾北消防本部が推薦を受け、寄贈先に選ばれました。

高吾北消防では、この車両を活用し、救急普及啓発活動に今後ますます力を入れていきます。

救急普及啓発広報の推進へ